

◆三宅和広議員 てんどう創生の会、三宅和広です。よろしくお願いいたします。

第八次天童市総合計画が策定されました。天童市の将来像として、「笑顔あふれ 幸せひろがる安心都市」を掲げています。

巻頭言の中で市長は、「8年間の計画期間において、心身ともに健康な暮らし、魅力ある産業、安全・安心なまちづくり、充実した子育て、学びの環境などを市民の皆さまから実感していただけるよう、将来的に持続可能なまちづくりにつながる施策を総合的に展開するとともに、人口減少が当面続く中であっても、次代を担う若者を始め幅広い世代の方々から選ばれる天童市、つながりを持てる天童市として、様々な魅力に一層の磨きをかけてまいります。」と述べられています。

必ず実現しなければならない重要なことだと感じます。この総合計画の実現に向け、私も今後具体的な提案をさせていただきたいと思います。

それでは、通告に従いまして質問をさせていただきます。

今回は、「将棋の聖地としての取組としての新たなデザインマンホール蓋の設置について」と、「小中学校トイレの洋式化の今後の対応について」の2点についてお伺いします。

先ほどの第八次天童市総合計画の中では、第4編 基本計画の中の、一つ目は、第1章第3節第2項の「戦略的なシティプロモーションの展開」、二つ目は、第5章第1節第1項の「学校の安全・安心を未来につなぐ学校教育」に該当すると考える次第です。

まず、「将棋の聖地」としての取組としての新たなデザインマンホール蓋の設置についてお伺いします。

今年3月21日に天童駅東口駅前広場に、「3月のライオン」のデザインマンホール蓋が設置されました。天童市の水道通水100周年を記念して設置されたもので、主人公の桐山零がラ・フランスとシャインマスカットを抱えて、本市の下水道普及の象徴となる倉津川と満開のシダレザクラとともにデザインされています。

新関市長は、市のホームページの中で、デザインマンホール蓋に関して、「将棋ファンをはじめとした観光誘客を図るとともに、「将棋の聖地」としてのブランド力の向上、将棋の魅力発信に努めてまいりたい」と記されています。

確かな結果が出るものと期待しております。特に、3月のライオンファンにとっては、訪れてみたい聖地となることが大いに期待されます。

今回設置されたものは、桐山零をデザインしたものでございますが、3月のライオンにはほかにも天童市出身のプロ棋士として登場する島田開や桐山零がよく訪れる川本家の次女・川本ひなた、桐山零と同年代の二階堂晴信などが登場します。

今挙げました3人は、平成30年に天童市市制施行60周年に合わせて作成された「天童市版オリジナルイラスト」に登場するキャラクターです。

「3月のライオン」ファンにとっての聖地としての地位を確固たるものとするために、この3人のキャラクターのデザインマンホール蓋も設置してはどうでしょうか。そうすることにより、回遊性をつくり出すことが期待できますし、観光誘客の効果を高めることができるものと考えます。市長の考えをお伺いします。

次に、小中学校のトイレの洋式化の現状と今後の方針についてお伺いします。

学校トイレは、児童生徒が毎日利用する生活環境であり、快適で衛生的な環境を整備することは、学校生活の質の向上だけでなく、児童生徒の健康管理や防災の観点からも重要とされています。特に、洋式化は衛生面の向上に大きく寄与するとされています。

文部科学省の調査によれば、令和5年9月1日現在の公立小中学校トイレの洋式化率は全国平均68.3%、山形県平均68.6%となっています。本市は70.7%であり、全国平均、県平均を上回る水準にありました。

本市では、施設の長寿命化計画を策定し、順次、洋式化を進めており、今年度、令和8年度に第四中学校のトイレ改修工事を実施します。

そのため、令和5年9月1日現在の70.7%よりかなり改善されるものと思いますが、現在の状況はどうなっているのでしょうか。今後の施設整備の在り方を検討するためにも、学校ごとの施設整備状況を把握したいと思います。第四中学校のトイレ改修工事完了後の学校ごとの洋式化率はどのようになっているのか、お伺いいたします。

また、和式便器が残っている状況ですが、それらの残された和式便器について、今後どのように対応する予定なのか、今後の学校トイレ整備をどのような方針で進めていくのか、教育長のお考えをお伺いしたいと思います。

以上、1回目の質問といたします。

◎新関茂市長 三宅和広議員の御質問にお答え申し上げます。

「将棋の聖地としての取組について」の「新たなデザインマンホール蓋の設置について」申し上げます。

本市では、観光ガイドブックの製作をはじめ、様々なプロモーション活動等に、「3月のライオン」を積極的に活用しながら、「将棋の聖地」としての認知度を高める取組を進めております。

このような中、このたび、主人公をモチーフにしたデザインマンホール蓋を天童市水道通水 100 周年を記念して作製し、多くの方に御好評をいただいております。

議員から御提案いただきました「3月のライオン」に登場する他のキャラクターのマンホール蓋を設置することは、ファンにとって、さらなる魅力の提供につながるだけでなく、市内を巡る周遊性を高める観光振興としても効果が期待できるものと考えております。

今年度には、観光誘客と市内周遊促進の一環として、既に設置してある歩道の詰将棋に、二次元コードを設置し、スマートフォン等を活用して、手軽に詰将棋を楽しめる仕組みの整備に着手しております。

今後もマンホール蓋の設置等も含め、様々な観点から将棋を生かしたまちづくりを進め、「将棋の聖地」を目指して取り組んでまいりたいと考えております。

◎松田義彦教育長 三宅和広議員の御質問にお答え申し上げます。

「小中学校のトイレの洋式化について」の「洋式化の今後の対応について」申し上げます。

本市の学校施設におけるトイレの洋式化につきましては、平成 24 年度に大規模改造事業として、第二中学校と第三中学校の洋式化を実施しております。また、令和3年度からは、天童市学校施設長寿命化計画に基づき、学校施設環境改善交付金を活用し、計画的に改修を進めているところであります。

今年度は、第四中学校のトイレ改修工事を進めており、これにより、令和8年度末における小中学校トイレの洋式化率は、小学校で 100%、中学校で 83.3%となり、全体では 95.2%となる見込みであります。

一部の中学校では和式便器を設置しているところもございますが、学校の意向を確認しながら設置した経緯があるため、長寿命化計画に基づいたトイレの洋式化は、第四中学校のトイレ改修工事をもって完了するものと考えております。

したがいまして、現時点では、残る和式便器の洋式化については、新たな整備計画はございません。

◆三宅和広議員 御答弁ありがとうございました。

再質問をさせていただきます。

まず、「将棋の聖地」としての取組としての新たなデザインマンホール蓋の設置について伺います。

大変前向きな回答なのかなと思ったところでございます。将棋のアプリ、回遊性ということで今年度取り組まれておって、ほかにもいろいろ取り組まれるという御予定ということで、力強いお答えだったなというふうに思っているところでございます。

今回、こういったことを提案させていただきましたが、いろいろ調べてまいりましたので、そのところをお話をさせていただきたいなと思います。

今回、新たなマンホール蓋の設置ということで提案をさせていただいた経緯でございますけれども、今回この新しいマンホール蓋が設置されたことを私、SNSのほうで発信をさせていただきました。フェイスブック、X、インスタグラム、Threadsですね。

そうしたところ、Xのほうで大変大きなリアクションがございました。いいねが約9,300件、リポスト、リツイートというんでしょうか、が1,800件、引用が79件、コメント20件をいただきました。それから、画面に表示された回数が19万9,000回ということで、大変多く見ていただいたなというところでございます。

多くの方がこの天童市の新たな名所ということで理解していただいたのかなと思っていたところでございます。

いいね、リポスト、その数合計したものが1万件を超えると、Xではバズるということで、まれにしか起こらないことなんだそうですね。今回、こういうふうに起こったというのは大変うれしいなと思ったところでございます。

なぜバズったかという、これ「3月のライオン」だからだったと思います。

先ほど引用とか、コメントなんかいただいたということで、それを見ても、「3月のライオン」に関心のある人が多くいいねをしているんですね。

デザインマンホールに興味のある方もいらっしゃるんですけども、どちらかというと「3月のライオン」に関心のある方が多いなという気がしました。

それだけ「3月のライオン」というものは、根強い人気があるのかなというふうに感じたところでございます。

コメントの中で、ちょっと御紹介したいのが、「天童市なら島田さんであってほしかったです。」それから「島田さんのはどこですか。二つ目、もしかしたら、ぜひ島田さんを」、というようなことで、こういった島田さん望む声というのが結構多くありました。

やはり、桐山零さんもいいんでしょうけれども、天童だったら天童出身の島田開さんがあってよかったのかなというようなコメントが多く寄せられた、そういったこともあって、今回この提案をさせていただいたところでございます。

将棋会館がある千駄ヶ谷の駅の近くに、千駄ヶ谷大通り商店街というのがあって、こちらのほうにも「3月のライオン」のマンホール蓋が設置されています。こちらのほうは6種類で9枚だそうです。270メートルの間隔の中で、6種類9枚の設置がされているということで、大変好評を得ているというようなことが書かれておりました。

同じように、天童市も、島田開さんとか、山本ひなたさんとか、二階堂晴信さん、これ天童市版オリジナルイラストに登場する人物ですけども、そういった方々のものを市内各所に設ければ、回遊性が生まれて、プロモーション、宣伝効果があるのかなと、シティープロモーションの効果があるのかなと感じたところでございました。

デザインマンホール、こういったのやると、観光客がいっぱい来るというのは、天童駅前にあるデザインマンホール、桐山零のデザインマンホールは世界に1枚しかないわけなんですね。世界に1枚しかないものをぜひ見てみたい、実物を見てみたいという人が多くいらっしゃるの、観光振興になるというようなことでございますので、こういったことも考えると、1枚あるよりは、2枚、3枚、4枚あってというようなことがいいのかなという気がしたところでございます。

ただ、設置するだけでもいいんでしょうけれども、それよりも、もっとストーリー

性を持たせるようなことがあってもいいのかなという気がしたところでございます。

具体的に申しますと、先ほど1番要望があったという島田開さん、先ほどのデザインイラストのほうで4人いるとお伝えしましたが、桐山零さんはラ・フランスとシャインマスカットを持っています。川本ひなたさんはサクランボを持っています。二階堂晴信さんは左馬の駒を持っています。島田開さんは何も持っていないんですね。

ところが、島田開さんの後ろには山が写っています。島田開さんの出身地はどんなのかなと思って、いろいろアニメの中でも、画像が出てくるんですが、その画像を見てもぴったり合うところがないんですね。

ChatGPTにちょっと聞いてみました。島田開さんの育ったところはどこなのかと聞いてみたところ、回答はこのようなものでした。

「ファンの間では、田麦野地区や山口地区を連想する声もあるが、作者の羽海野チカさんや公式資料が具体的な地名を示したことは確認できない。実在の1地区をモデルとしたものではなく、天童東部の農山村地域を合成した架空のふるさとだろうと」というような回答でした。

島田開さんがアニメの中で、こういったことを言っています。

「俺が育ったところは東北の雪ばかりの村」、「俺は同年代の子どもが全くおらず、野球もサッカーも人数不足でできずに育った。」「小3になる頃にはバスに揺られて、市内の小さな将棋道場に通いに行った。」ということで、天童駅前の絵が描いてあるんですね。

これを考えたとき、一般的に田麦野地区とか山口地区というふうになるんですが、多分田麦野地区なのかなと思ったところでもあります。あの山の奥ですね、後ろのほうは、地図で見ると、田麦野地区なんですね。

なので、島田開さんは何も持っていないけれども、島田開の育った村の人々の期待、これは「将棋のまち天童市から名人を」という、これを背負っているんだというふうに私は考えたいんですね。

そういったことを作って、島田開のマンホール蓋とあわせてやって、ストーリー性を持たせてとやるといいのかなと思ったところですよ。

もう一つ、設置場所は、車道ではなく、やはり歩道でないと危ないのかなと思っ

たところですよ。

いろいろ私も現場見て調べたところ、天童温泉街のほうにとか、それから舞鶴山のところの天童公園の近くの駐車場の近くの歩道とか、県道 22 号線、旧国道、こちらの五日町のところ、あの辺だと歩道のほうにマンホール蓋があったんですね。

それで、「3月のライオン」最新刊は 18 巻ですが、この中に先ほどの川本ひなたさんが、お菓子を作っています。「どらオム☆サンド」ということで、どら焼きの皮であんこと粒塩入りのバターをサンドしたものなのですが、ほかにもいろいろ作品の中にはお菓子が出てきたり、食べ物が出てきたりするんですが、こういったものを実際に作って提供するような店があれば、例えば、マンホール蓋がある近くのお菓子屋さんでそういったお菓子を作ってもらって提供したりすると、実際にそこに行って食べられる、じゃ行ってみようというようなことになるのかなと思ったところでした。

そういったストーリー性を持って設置をしてストーリー性を持たせて、観光客誘客につながればいいのかなと思ったところでございます。

それから、マンホールカードというもの、桐山零さんのものはこれから作る予定だというふうに聞いておりますけれども、もしほかのところも作ればマンホールカードも作れるのかなと思ったところです。

同じところで配布するのではなく、マンホール蓋がある近くのところで配布をすれば、マンホールカードを希望する人が、それぞれのところに訪れるということもありますので、そういったことで配布場所を訪れる人を増やすことができるのかなと思ったところでございます。

いろいろこんな話をさせていただきましたが、新たなデザインマンホール蓋の設置が天童市が将棋の聖地になるための有効なツールになると考えます。新たなデザインマンホール蓋の設置について、改めて伺いたいと思います。いかがでしょうか。

◎結城誠一郎経済部長 お答えいたします。

今議員から御提案いただきましたこの「3月のライオン」の新たなキャラクターのデザインマンホールの設置につきましては、昨日も新関議員の御質問にお答え申し上げましたけれども、「3月のライオン」を活用した観光スポットの創出として、若い

世代やファン層への魅力を効果的にアピールできる有効な手段であると考えております。

市内周遊の促進につながる効果的な取組であると思っておりますので、本市の観光資源をさらに充実させることができるものと考えております。

議員からいろんなストーリー性を持ってやるなど、たくさんの御提案いただいたわけでございますけれども、そういったものを踏まえながら、多くの方が天童市へお越しいただいて、市内の周遊を楽しんでいただけるよう、新たなデザインマンホールというものの設置も含めた中で観光資源の活用につきまして、今後検討してまいりたいというふうに考えているところでございます。

以上です。

◎新関茂市長 三宅議員の御提案に対しましての回答はただいま部長が申し上げたとおりでございますが、一つ御紹介したいことがありまして、日本将棋連盟さんのほうで「将棋を活用したまちづくりの取組」と称しまして、日本地域政策研究のほうに寄稿しているものがございまして、これを見ますと、近年は、将棋を題材にしましたまちおこしをやっている市町村が大変多いという中で、全国の取組の事例と称しまして、まず第1番目に天童市を挙げていただいております。

これにつきましては、「天童市は商業観光資源としてまちづくりに取り組んでいる」と、「全国の将棋のまちを代表する存在である」ということで、そのほかには、例えば棋士が大変多い加古川市、あるいは藤井聡太棋士の出身地であります瀬戸市、これにつきましては名古屋市と何かちょっとバトルをやっているようですけれども、瀬戸市がお生まれですが、実際に強くなったのは名古屋市だというような話もありまして、そのほかに、ただいま議員のほうから御紹介あったような渋谷区とか高槻市、これについては、日本将棋連盟と包括連携協定を結んでやっている、そんな形で、将棋の商業街の分類としまして、天童市は観光資源型だということで、やはり人間将棋を代表する将棋のまち、そして、将棋の聖地を目指している、そういった意味では、これからも観光産業と結びつけ、将棋の聖地を目指してまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

◆三宅和広議員　ありがとうございます。

3月のライオンで、1巻、2巻、3巻という発行されるほかに、おさらい読本というのがあります。いろいろこうまとめたものなんですけれども、その初級編の中に、聖地巡礼ガイドというのがあります。

実際に登場する、例えばいろいろ橋であったり、駅であったりという、築島のお好み焼き屋であったりなんていうところがあって、それが載っているんですけども、そちらの21番目、番外編ということで、羽海野チカさんが考えられたんだと思いますが、天童市の桜まつりを載っていました。唯一都外で載っていたのがこの天童桜まつりでした。

このおさらい読本は、初級編と中級編まで出ておりますけれども、上級編では、羽海野チカさんから天童市のデザインマンホール蓋をぜひ載ってほしいなと、私は個人的に思ったところでございます。

市長からもあったように、天童市は観光ということで、これからも「3月のライオン」なども取り込んで取り組まれるということで、頑張っていきたいと思います。

改めて、「3月のライオン」のデザインマンホール蓋についてお願いいたしまして、一つ目の質問を終わらせていただきたいと思います。

次に、学校トイレの洋式化のほうを進めさせていただきたいと思います。

小学校のほうではもう100%になりますけれども、中学校のほうでは83.3%、全体で95.2%ということで、大分進んだのかなというふうに理解しております。

一中から三中まで残っているというような御答弁でございました。

この一中から三中まで実際に残っている和式便器の数というものはどのような数になっているのでしょうか。

◎川股元昭教育次長　お答え申し上げます。

一中から三中までの和式便器の数ですが、第一中学校は9基、第二中学校は6基、第三中学校は11基、合計で26基となっております。

以上です。

◆三宅和広議員　ありがとうございます。

私、二中のほうにちょっと確認をしたんですけども、6基ということでござい

ました。これ内訳が、北校舎、教室が入っている建物の校舎1階から3階までございます。西側と東側にトイレがあるわけなんです、私、中学校が二中ですので3年生のときは西側のほうに教室があったんですが、西側のほうは全て男女とも洋式完了したということですが、東側のほう、4、5、6組のほうにあった東側のほうが、男女とも、それぞれ和式が1基、洋式が1基ということで、ここに3、3の6基というような中身だったというふうに確認しております。

ほかの三中も同じような状況のようでございます。

私、洋式化ということで、以前にも質問をさせていただいたところでございますけれども、やはり洋式化というのは、今、もう時代の流れで100%というのが当たり前のような状況になってきているのかなと思います。

私自身も和式と洋式があったら洋式を選びます。これ多分多くの人と同じではないのかなと感じたところでございます。

商業施設はほとんどが洋式でございますので、社会はそういう流れになるのかなというふうに、私は理解しております。

14年前、二中、三中ですか、一中も同じような頃に新築工事があったかと思うんですけれども、14年前とは、今、大分状況が変わってきているのかなという気がしております。

前は、和式という声もあったんですけれども、今は、ほとんどが洋式ということで、現に小学校と四中では全て洋式100%という実態を踏まえると、学校のほうからお話がないというような話でございますけれども、これは14年前とは違っている状況を見ると、改めて長寿命化計画を見直す必要があるのかなというふうに考えたところでございます。

学校のトイレが100%であるということは、天童市のアピールポイントになるのかなという気がします。逆に100%でないと遅れているという感じが出てきてしまうのかなと、天童市のイメージダウンになるのかなというふうなことも、私は心配しております。

それから、小学校は全部ですけれども、中学校を見たときに、一中から三中は70%、80%という洋式化率ですけれども、四中だけ100%ということを見ると、中学校の中で、学校間で差が出てきているというような状況があります。また、学校内でも、東側と西側で、西側が100%、東側が一つ残っているという状況

を考えると、学校の中でも不公平な感じが出てきてしまっているのかなという気がしています。

例えば、洋式トイレを使いたいんだけど、いっぱいなんで仕方なく和式を使うなんていう子どもさんもいるのかなという気がします。

実際に、二中の生徒さんに聞いてみると、洋式のほうに並ぶこともあるようだというようなことがありますので、それはもう改めて、学校の状況、それから生徒さんからも意向というものを聞いた上で判断されるのがいいのかなというふうに思ったところでございます。

改修するに当たっては、お金がかかります。一中から三中までは学校施設環境改善交付金でしょうか、こちらのほうを使って改修されたと思うんですが、こちらのほう、使ったのが14年前ということで大分期間がたっておりますので、改めてこの交付金を国に要望して、採択される可能性は高いのかなという気がします。

要件を見ても、対応できるような内容かなと思っておりますので、その辺もぜひお含みの上、一中から三中までのトイレの洋式化についても進めていただきたいなというふうに感じたところでございます。

改めて、今後の学校トイレの整備について、お伺いしたいと思います。よろしくお願い致します。

◎川股元昭教育次長 お答え申し上げます。

今、議員のほうからありました様々な状況への対応も含めてということでございますけれども、今年度に第四中学校のトイレが全て洋式化となりまして、他の中学校に和式便器が設置されているような、そういった状況であります。

ただ、一中につきましては改築、また二中、三中のトイレについては洋式化ということで、その際、和便器を一定数設置する必要があるというような、そういった学校の意向を踏まえながらの整備を実施したところでございます。

一方で、議員御指摘のとおり、近年は公共施設におきましても洋式化のほうが進んでおりまして、トイレの利用環境のほうも変化している、そういったことについては認識しております。

ただ、しかしながら、現時点でトイレの利用に生徒の方が並ぶというような、そういった声もあるかもしれませんが、実際学校のほうにそういった不満ということも

なく、学校のほうでも特段の支障がないような、そういった状況でございます。

現在、学校施設につきましては、施設の長寿命化と財政負担の平準化を図るために、長寿命化計画に基づいて児童生徒の安全に関する対策、また施設の老朽化対策など、優先順位をつけて改修を行っている状況でございます。

現在、トイレの利用に特段の支障がないというような、そういったところもございますので、トイレの洋式化に対する整備計画というのは、現段階ではちょっと考えてはおりませんので、御理解のほうお願いいたします。

◆三宅和広議員 意向を聞いたのは14年前ということで、大分前の意向を反映された結果が今に至っているわけなんですけど、要望が出てこない、出ていないということでございますけれども、改めてその辺のほうは確認をして、進められたほうがいいのかなという気がします。

先ほどの八総では、「施設の老朽化に対応し、安全・安心な教育環境を整えるため、学校施設長寿命化計画に基づき、修繕や改修を計画的に進めます」としております。

この実現のためにも、今申し上げましたように、一中から三中までの状況を確認をした上で、ぜひトイレの洋式化を進めていただきたいなと思ったところでございます。

今回、二つの点について質問をさせていただきました。冒頭で触れました、第八次天童市総合計画の実現のためにぜひ前向きに御検討をいただきたいと思いますので、ぜひよろしくお願いいたします。

以上で私の一般質問を終わります。